

千里ライフサイエンスセミナーN2 『オルガノイド研究の現状と展望』

1. 日時・場所

2019年7月24日(水) 10:30~16:10

千里ライフサイエンスセンタービル 5F 山村雄一記念ライフホール
(大阪メトロ御堂筋線・北大阪急行 千里中央駅 北口すぐ)

2. コーディネーター

佐藤 俊朗 慶應義塾大学医学部 坂口光洋記念講座(オルガノイド医学) 教授
西中村 隆一 熊本大学発生医学研究所 腎臓発生分野 教授

3. 開催趣旨:

発生の過程において、受精した胚は一種の幹細胞としてあらゆる組織を作り出し、生後の成熟によって機能的な組織が完成する。一方、成体組織の多くは、組織幹細胞の自己複製と分化により、その機能が維持される。こうした幹細胞からの複雑な組織形成・分化・維持のプロセスの理解は、2次元培養では不十分であった。近年、多能性幹細胞・組織幹細胞から様々な3次元組織構造体“オルガノイド”を作り出す技術が開発された。オルガノイド培養は、これまでブラックボックスであった組織形成・分化過程を“見える化”し、新しい知見を続々と生み出している。また、オルガノイドは生体組織に近い機能を有し、再生医療への応用が始まっている。さらに、疾患組織のオルガノイドモデリングによって、疾患の病態理解や創薬研究が注目を集めている。

今回、国際的な活躍をしているオルガノイド研究者を糾合し、どのようにオルガノイドを作り、研究に応用していくか、わかりやすく講演頂く。

4. プログラム(演題および演者)

10:35-10:50 はじめに

佐藤 俊朗 慶應義塾大学医学部 坂口光洋記念講座(オルガノイド医学) 教授

10:50-11:30 「オルガノイドによる消化器疾患研究」

佐藤 俊朗 慶應義塾大学医学部 坂口光洋記念講座(オルガノイド医学) 教授

11:30-12:10 「卵母細胞系列の再構築系の現状と課題」

林 克彦 九州大学大学院医学研究院 ヒトゲノム幹細胞医学分野 教授

12:10-12:50 「多能性幹細胞を用いた神経発生システムの再現と制御」

永樂 元次 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 教授

-昼食-

14:00-14:40 「ヒト肝臓を対象としたオルガノイド医学」

武部 貴則 東京医科歯科大学 統合研究機構 教授

14:40-15:20 「iPS細胞を用いた肺オルガノイドからの呼吸器疾患モデリング」

後藤 慎平 京都大学大学院医学研究科 呼吸器疾患創薬講座 特定准教授

15:20-16:00 「発生学をもとに腎臓を創る」

西中村 隆一 熊本大学発生医学研究所 腎臓発生分野 教授

16:00-16:10 おわりに

西中村 隆一 熊本大学発生医学研究所 腎臓発生分野 教授

5. 参加費：無料
6. 定員：200名（定員になり次第締切り）
7. 申込方法：氏名・勤務先・所属・役職名・〒・所在地・電話を明記の上、
E-mailでお申し込みください。（FAX申込み可）
事務局より「参加証」をお送りいたします。
8. 申込先：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団
セミナーN2 事務局 担当 秋山 雅央
E-mail: dsp-2019@senri-life.or.jp（TEL：06-6873-2001、FAX：06-6873-2002）

セミナーの詳細や変更等につきましては、下記の財団 web site にて随時ご案内しておりますのでご覧下さい。（財団 web site：<http://www.senri-life.or.jp/>）